令和８年度かごしまＣＳ・地域学校協働活動研修会（南薩地区）事例発表２

なぜ、それができたのか。

～指宿小学校「校区史跡巡り」の実現～

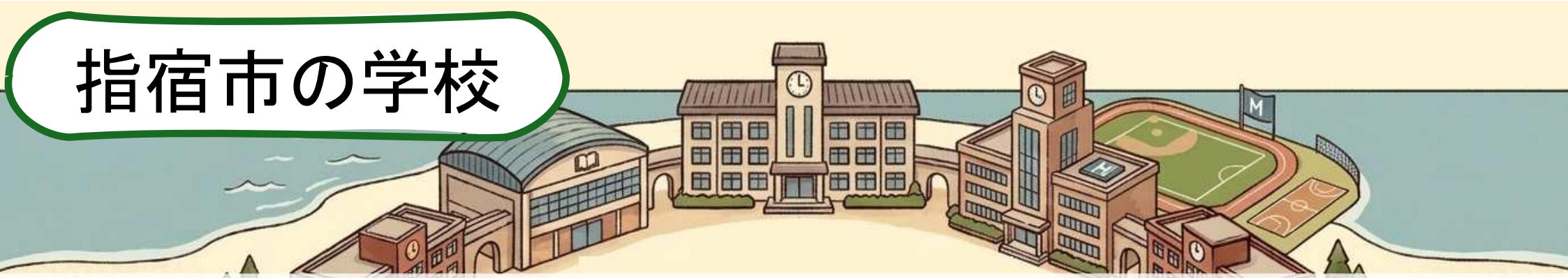


指宿市立指宿小学校　教　頭　楠元　慎一

指宿小学校学校運営協議会　委　員　中村　博美

指宿市教育委員会学校教育課　学校教育係長　兒玉　拓世

指宿市の学校



小学校９校・中学校５校・市立高校１校　計１５校

全ての小・中学校がコミュニティ・スクール

全ての小・中学校が小中一貫教育校（併設型）



※　この発表スライドで用いているイラストはＡＩで生成したものです。


CSと地域学校協働活動の推進体制
学校
学校運営
協議会
地域住民・
学校応援団等
市教育委員会
学校教育課
市教育委員会
生涯学習課

いぶすき地域学校協働活動とは

より多くの地域住民や団体等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して、
地域と学校が相互に連携・協働して行う様々な活動です。→**地域人材育成、地域の教育力向上、地域住民の生きがいづくりを目指します。**





地　域

双方向で連携・協働

学　校



地域住民
保護者・PTA
社会教育施設・団体
文化団体
スポーツ団体
企業・NPO等

応援のネットワーク

学校応援活動を基盤に組織的に連携・協働し、「多様な活動」の例を参考に、できることから取り組みます。

【学校応援団協議会】

○　学校関係者、社会教育関係者(※)、民生委員児童委員、老人クラブなど、校区団体等の代表者で組織します。
○　地域学校協働活動の企画及び実施体制整備、学校と地域との連絡調整等について、方向性を検討したり、新たな提案をしたりします。

一体的な推進

【学校運営協議会】

学校運営に地域の意見を取り入れ、学校と地域が一体となって特色ある学校づくりに 努めます。



＜双方向で連携・協働する「多様な活動」の例＞

○　学校に対する様々な協力活動（学校応援活動）
○　地域人材育成、郷土学習（職場体験学習、郷土芸
○　地域行事、イベント、祭り、ボランティア
○　放課後等における学習・体験活動
○　多様な教育的ニーズのある
（中・高生対象の「地
○　外部人材等を活用し
○　家庭教育支援活動
○　学びによるまちづくり
（合同防災、避難訓練な

別紙参照



地域コーディネーター

【地域と学校をつなぐ役割】

○　学校や地域の要望や課題の把握
○　地域住民や団体への参画依頼

（※）社会教育関係者：校区公民館長・青少年育成推進員・子ども会役員・地女連等

「いぶすき地域学校協働活動」推進に係る組織体制

指宿市地域と学校の連携協働推進本部



開催時期…５月頃（年１回）
委　　員…校長会、自公連、警察署、消防組合、市P連、市子連
地女連、老人クラブ、民・児委員、JA、観光協会
商工会議所、青年会議所、いぶすきスポーツクラブ
などの代表者（20名以内）

【　主な協議内容　】
・地域学校協働活動の基本方針の策定
・各学校応援団協議会への指導・助言・支援
・魅力的な事業の実施提案・活動への支援

・方針周知
・指導助言
・活動支援

・活動報告
・課題抽出

＜各小・中学校区＞

学校応援団協議会



開催時期…５月頃と１月頃（年２回）
委　　員…学校関係者、社会教育関係者、民・児委員
老人クラブなどの代表者（11名以内）

【　主な協議内容　】
・地域学校協働活動（学校応援活動や地域応援活動、放課後子ども教室、放課後学習教室など）の企画や実施
・年間の活動計画や報告

・活動報告
・情報共有

指宿市地域学校協働活動推進連絡会

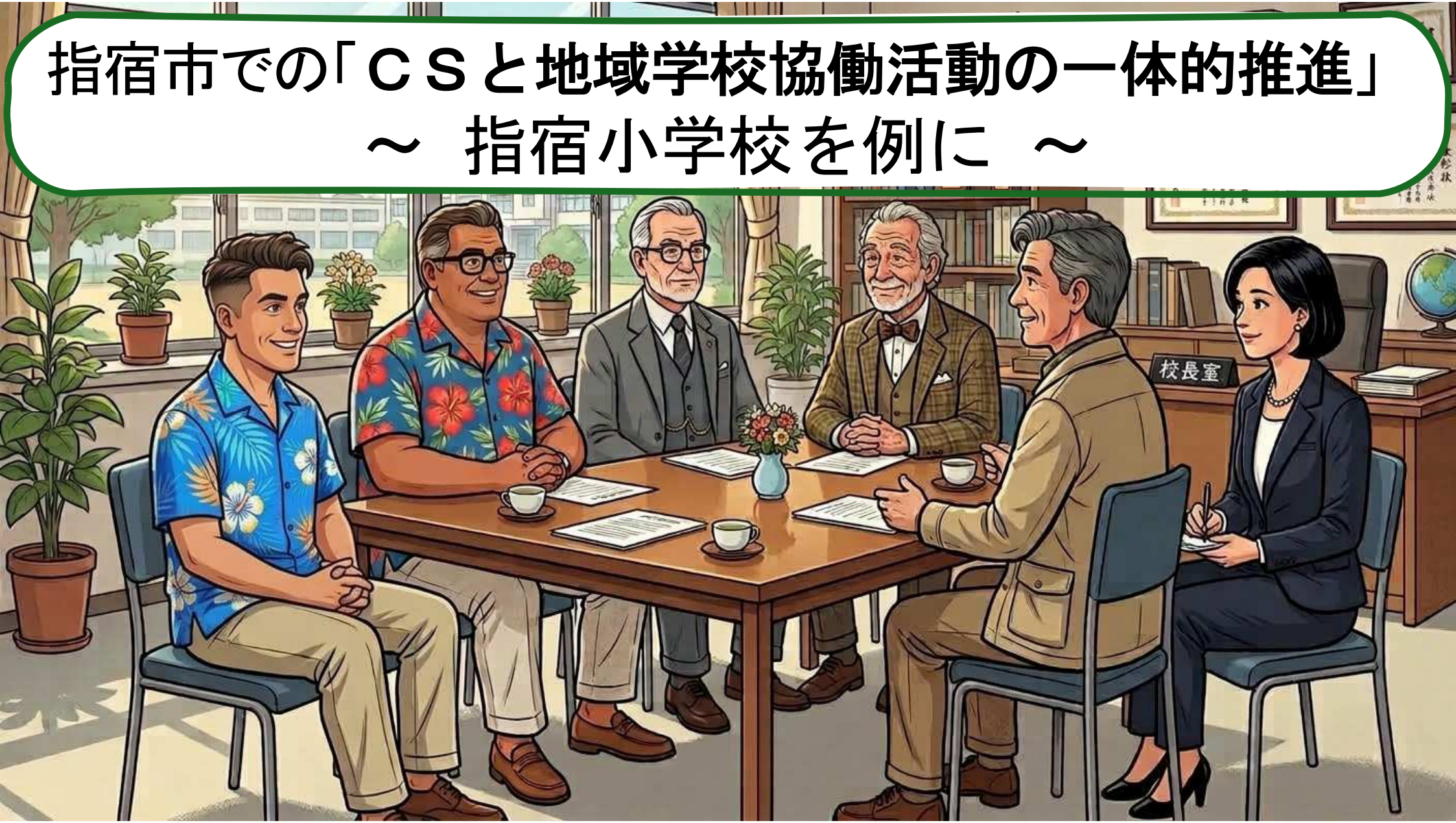
開催時期…２月頃（年１回）
出 席 者 …各小・中
学校

【　主な内容
・地域学校協
・各小・中学校
・問題点や課題

の情報共有や意見交換
について情報交換

別紙参照

指宿市での「ＣＳと地域学校協働活動の一体的推進」
～　指宿小学校を例に　～



学校紹介



指宿市立指宿小学校

～創立１５６周年～

児童数　２２２人

学級数　１５学級

（うち特別支援学級６学級）

職員数　２７人

指宿小学校運営協議会

令和８年度委員

- 校区公民館長
- 前幼稚園長
- 地域女性代表
- 前校区公民館長
- 校区公民館主事

※ 地域コーディネーター

- ＰＴＡ会長
- 前ＰＴＡ会長

年代、性別、地域での立場等、バランスのとれた委員構成





校区にある市指定史跡「松尾城」とは

鎌倉時代から江戸時代初期までの約400年間、指宿の政治の中心を担った城。自然地形を巧みに利用し、空堀や土塁を築いて防御を固めている。「山城」であるとともに錦江湾に面した「海城」でもある点が特徴。1615年の一国一城令で廃城。



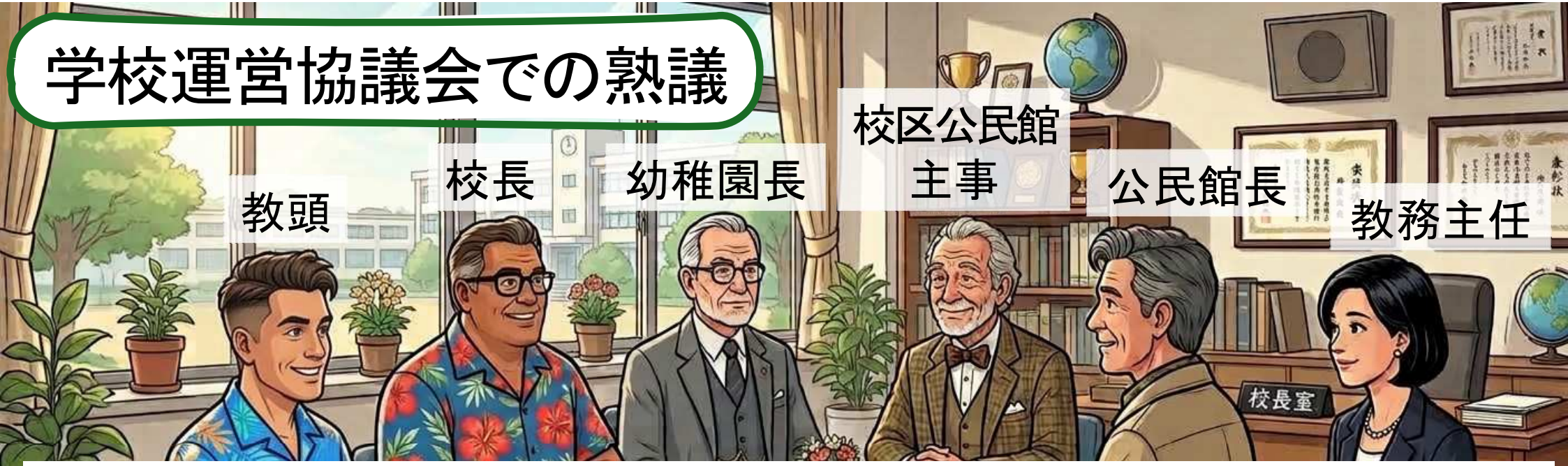

南東からの近影


内堀跡


大手門跡

画像はすべて、指宿市教育委員会(2013)「平成24年度市内遺跡確認調査報告書」より

学校運営協議会での熟議



運：松尾城跡を活用し、地域への愛着や誇りをいかに育むかが今後の課題。

運：校区の歴史を知ってもらうため、文化財を巡るウォーキングコースを提案する。

学：松尾城跡を授業に取り入れ、地域マップ作りを協働で行い学びを深めたい。

運：既存の観光マップとは異なる、子供視点の分かりやすいマップ制作が望ましい。

運：県民週間などで、子供たちが自らガイドとして案内できるようになれば理想的。

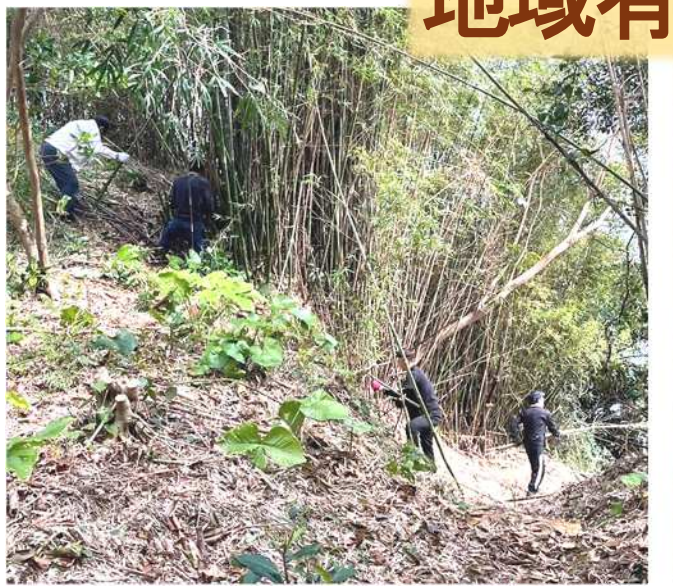
実は何年も前から……。







地域有志による学びの環境づくり





「校区文化財巡り」の実現！







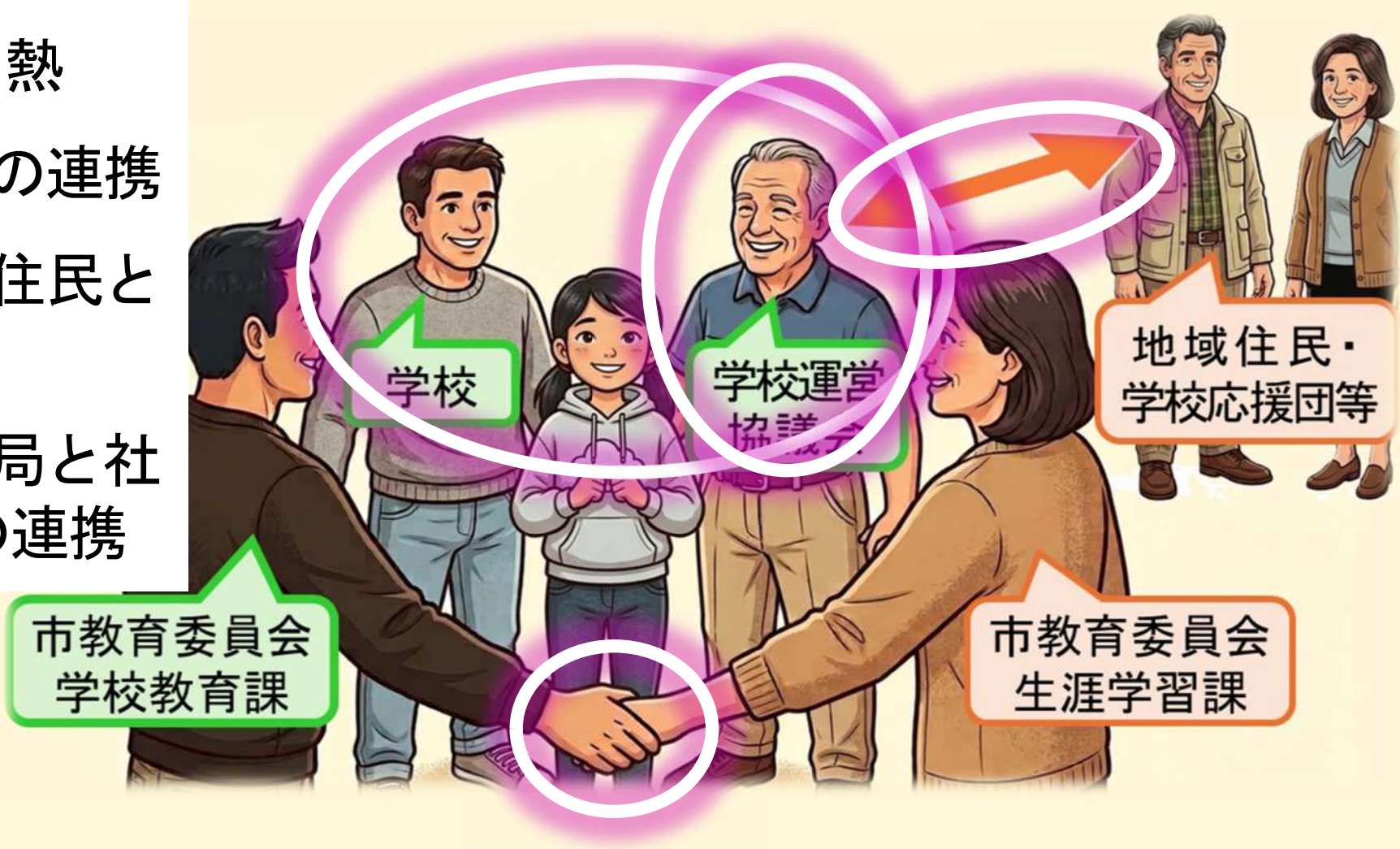
【学校の感想】

地域の願いを踏まえながら教育課程を見直し、**地域の協力**の下、「校区文化財巡り」を実現することができた。

社会科教育や郷土教育の視点からも、**貴重な学習活動**となっている。

「なぜ、それができたのか。」４つのポイント

- ☑ 委員の教育熱
- ☑ 校長と委員の連携
- ☑ 委員と地域住民との強い繋がり
- ☑ 学校教育部局と社会教育部局の連携



令和８年度かごしまＣＳ・地域学校協働活動研修会（南薩地区）事例発表２

なぜ、それができたのか。

～指宿小学校「校区史跡巡り」の実現～



指宿市立指宿小学校	教	頭	楠元　慎一
指宿小学校学校運営協議会	委	員	中村　博美
指宿市教育委員会学校教育課	学校教育係長		兒玉　拓世

ご清聴ありがとうございました。